

親子で組み立て

田工高の講習会に参加

ロボット選手権に向け

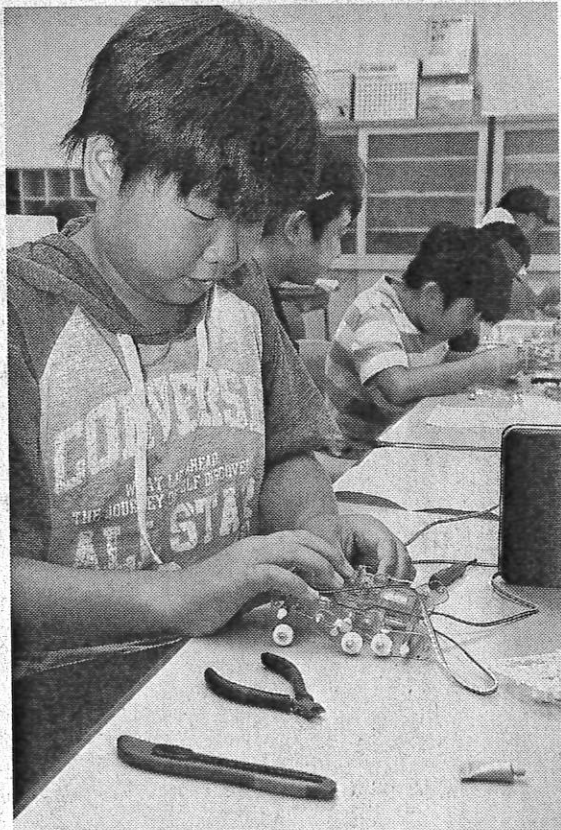
田辺市あけぼのの田辺工業高校で5日、きのくにロボットフェスティバル2018全日本小中学生ロボット選手権の講習会があった。小学4年生以上の小中学生16人と保護者が受講し、選手権で使うロボットを組み立てた。

選手権は県教委が事務局の
実行委員会が主催する。小学
生の部と中学生の部があり、

いずれも6足歩行のロボット
を使ってキューブを運び、得
点を競う。県内6ブロックに

分けた地域ごとにロボットの
組み立て講習会と予選会があ
る。

田辺・西牟婁の講習会の会
場になっている田辺工業高校
では、同校の教員が講師にな
り、参加者一人一人にロボッ
トのキットを配った。小学生
はカッターナイフやニッパー
を使って保護者と一緒にキッ
トを組み立てた。同校の生徒



ロボットを組み立てる児童
(田辺市あけぼのの田辺工業高校で)

も運営を手伝った。
同地区の予選会は11月10
日、田辺工業高の学園祭で開
かれ、一般に公開される。決
勝大会は12月16日、御坊市で

ある。作ったロボットは各自
で改造したり、操縦技術を磨
いたりして予選会に備える。
初めて参加した田辺第一小
学校5年の水原希君(10)は

「障害物をかいくぐれるよう
な強いロボットを作りたい」
と話した。